

とともに  
ともに  
未来へ。

第九  
ひろしま  
2018



平成最後の年末は、「第九ひろしま」へ。

〈管弦楽〉広島交響楽団 〈合唱〉第九ひろしま2018合唱団

〈指揮〉下野 竜也 広島交響楽団音楽総監督 就任記念



超絶技巧の  
貴公子  
第九ひろしま  
初登場！



〈ソプラノ〉安藤 赴美子  
©Yuki Hori



〈アルト〉清水 華澄  
©Shingo Azumaya



〈テノール〉小原 啓樓  
©Takehiko Matsumoto



〈バリトン〉デニス・ビシュニヤ  
©Denis Bishunyay

12月16日(日) 開演:午後3時  
開場:午後2時

広島サンプラザホール 広島市西区商工センター3丁目1番1号

指定席:前売4,300円(税込)/当日4,800円(税込) 自由席:前売3,800円(税込)/当日4,500円(税込)

\*4歳以上は有料です。3歳以下の入場はお断りいたします。※会場への入り口は西口(公園側)のみとさせていただきます。

・エディオン広島本店・広島サンプラザ・アルパーク天満屋・福屋広島駅前店  
[チケット販売] 中国新聞社読者広報部・セブンチケット・ローソンチケット(Lコード:62115)  
・チケットぴあ(Pコード:131-151)・RCCオンラインチケット

お問い合わせは▶RCC事業部第九事務局 ☎082-222-1133(平日午前9時30分~午後5時30分)

主催/中国放送 中國新聞社 特別協賛/株式会社 ザタケ 後援/広島県・広島市・福山市・東広島市・呉市・廿日市市・三次市・安芸高田市

広島県教育委員会・広島市教育委員会・広島県合唱連盟・ドイツ連邦共和国総領事館

第九ひろしま

検索

フェイスブックで  
最新情報を  
チェックしよう!



- ジヨン・ウィリアムズ：リバティー・ファンファーレ  
指揮：下野 竜也 管弦楽：広島交響楽団
- ラヴェル：ツィガーヌ  
■ マスネ：歌劇「タイス」～瞑想曲  
■ 服部隆之：大河ドラマ「真田丸」メインテーマ  
指揮：下野 竜也 ヴァイオリン：三浦 文彰 管弦楽：広島交響楽団

- ベートーヴェン 交響曲第9番三短調 Op.125「合唱」  
指揮：下野 竜也  
ソリスト：ソプラノ／安藤 赴美子 アルト／清水 華澄  
テノール／小原 啓楼 バリトン／デニス・ビュニヤ  
合唱：第九ひろしま2018合唱団



## Conductor

指揮者

Tatsuya Shimono

## 下野 竜也

広島交響楽団音楽総監督、広島ウインドオーケストラ音楽監督、京都市交響楽団常任首席客演指揮者、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。  
1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年にはイタリア・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮研究員として、(故)朝比奈隆氏をはじめ数多くの巨匠の下で研鑽を積む。1999年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、ウィーン国立演劇音楽大学に留学。2001年6月まで在籍。

2000年東京国際音楽コンクール＜指揮＞優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、以降、国際的な活動を展開。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、海外においても、名だたるオーケストラで次々と客演を重ねている。

読売日本交響楽団の初代正指揮者(2006年11月～2013年3月)を経て、同団首席客演指揮者(2013年4月～2017年3月)として高い評価を獲得。更に2014年4月からは京都市交響楽団の常任客演指揮者に就任し、2017年4月には、同団常任首席客演指揮者に就任。2011年から音楽監督を務める広島ウインドオーケストラとは、吹奏楽の分野に新たな一石を投じる活動で注目を集めている。2017年4月広島交響楽団音楽総監督に就任。同月、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授に就任。鹿児島市ふるさと大使。おじやんせ霧島大使。



## Violin

ヴァイオリン

Fumiaki Miura

## 三浦 文彰

東京都出身。両親ともにヴァイオリニストの音楽一家に生まれ、3歳よりヴァイオリンを始め安田廣務氏に、6歳から徳永二男氏に師事。

2009年10月には、ハノーファー国際コンクールにて史上最年少で優勝。同時に、聴衆賞、音楽評論家賞も受賞。これまでに、国内主要オーケストラはもとより、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団、ミルウォーキー響、オレゴン響、ユタ響、ウィーン室内管、ニュルンベルク響などとも共演している。

2012年以降、ブラハ・フィルやショットカットガルト放送響との日本ツアー、ベンデレツキ80歳記念演奏会でベンデレツキ自身の指揮での演奏、ループルでのリサイタルでパリ・デビューと破竹の勢いで国際的な活動を展開している。

また、NHK 大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題となった。

2017年には、リサイタルでロンドン・デビューを果たし、チャイコフスキイ・シンフォニー・オーケストラ(フェドセーエフ指揮)との日本ツアーも行った。2018年は、ロイヤル・フィルとロンドンでの共演、ロイヤル・リヴァプール・フィルとの日本ツアーなどを予定している。

2009年度第20回出光音楽賞受賞。

使用しているヴァイオリンは、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1704年製作 "Viotti"。



## Soprano

ソプラノ

Fumiko Ando  
©Shingo Azumaya

## Alto

アルト

Kasumi Shimizu  
©Takehiko Matsumoto

## Tenor

テノール

Keiro Ohara  
小原 啓樓

## Baritone

バリトン

Denys Vyshnia  
デニス・ビュニヤ

国立音楽大学声楽学科卒業、同大学院声楽専攻(オペラ)修了。新国立劇場オペラ研修所第3期生修了。文化庁派遣芸術家在外派遣員としてイタリア留学後、ロームミュージックファンデーション在外研究生として再度イタリアに渡り研修を積んだ。P.モリナーリ、S.ベルトッキ、田中久子の各氏等に師事。「ラ・ボエーム」「スペードの女王」「椿姫」「カルメン」「タンホイザー」「蝶々夫人」「ナブッコ」「ドン・カルロ」など多くのオペラに主役あるいは重要な役で出演。N響「第九」、マーラー「復活」、ブームス「ドイト・レクイエム」、ヴェルディ「レクイエム」等コンサートでも活躍。多彩で細やかな表現と品格ある演技で大きな期待を抱く、大型ソプラノ。

「特別な思いの広島。  
共に歓喜の歌を  
歌い上げましょう!」

「広島の皆様の  
明るく輝くエネルギーが  
歌声となって放出され、  
ホールいっぱいに満ちるのを  
楽しみにしています!!」

国立音楽大学卒業。同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了後、イタリアへ留学。09年新国立劇場『チェネレントラ』ティーズべでカサロヴァ等豪華キャストの中での存在感溢れる歌唱と演技を披露。その後も東京二期会「ドン・カルロ」エボリ公女、「イル・トロヴァトーレ」アズチーナ、新国立劇場「オテロ」エミーリア、日生劇場「ルサルカ」イエジバなどで常に高い評価を得ている。コンサートでもマーラー「復活」「千人の交響曲」、ヴェルディ「レクイエム」等のソリストとして活躍。NHKニューイヤーオペラコンサートへも出演を重ねている。本年は東京二期会「ローエングリン」オルトリートに続き、10月「アイーダ」アムネリス役で札幌芸術文化劇場、神奈川県民ホール、兵庫県立芸術文化センターに出演予定。二期会会員。

「17才、青春18切符で訪れた  
思い出の広島。ここで  
皆さんと歌えることに感謝。  
世界に響け!広島第九!」

東京藝術大学卒業。同大学院博士号取得。東京二期会『蝶々夫人』ピンカートン、同『メリー・ウイドー』カミュー、新国立劇場『夕鶴』与ひょう、同『沈黙』ロドリゴ、日生劇場『リア』エドマンなどでの出演多数。近年では京都ロームシアター『フィデリオ』フロレスタン、東京二期会『イル・トロヴァトーレ』マンリーニ、同『ローエングリン』タイトルロールなどに出演。コンサートでも「第九」ヘンデル「メサイア」をはじめ、ハイドン「天地創造」、ヴェルディ「レクイエム」、マーラー「大地の歌」、ブリテン「戦争レクイエム」など国内主要オーケストラとの共演多数。来年3月にはロシア・ウラジオストク、サンクトペテルブルグで行われる外務省主催公演オペラ「夕鶴」に出演予定。二期会会員。

「大好きな日本、  
故郷ウクライナ、  
そして世界の平和への  
祈りを込めて」

## 広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra



国際平和文化都市“広島”を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広響。2017年4月から下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、吳・福山・廿日市・島根での地域定期やティスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>